

建築用 耐火構造等認定番号一覧表



2025 年 10 月版

■新規取得の耐火構造認定について

取り付け強度の向上，施工方法の改良，施工部材の追加・更新，納まり条件の更新等を目的とし，必要に応じて随時新しい認定を取得しております。本書中，鋼材耐火被覆（はり・各種柱）の耐火被覆の掲載ページには，一覧表中に当社が本書発行時点で最も推奨する，より新しい認定の情報を掲載し，脚注部に以前掲載していた認定の番号のみを参考掲載しております。（以前掲載の認定につきましては，原則として認定番号以外の情報は掲載しておりません）

■認定仕様の詳細について

本書では，認定内容について商品，被覆対象材，耐火時間別に認定番号と被覆材厚などの基本的な仕様条件についてのみを比較表方式で掲載しております。更に詳しい情報につきましては認定書を直接ご確認ください必要があります。認定書をご希望の場合は，当社ホームページより資料請求いただくか，建築事業部各所までお問い合わせ願います。

はり・柱用けい酸カルシウム耐火被覆板／各種製品・工法の特徴等

はり・角柱用耐火被覆板（平板成形材）の特徴

ニュータイカライト R	2018 年以降に各種の耐火構造認定を取得した工法用の最新の耐火被覆材です。耐火構造の認定制度では、常に最新の技術的情報により仕様条件等の性能判定基準が緻密化されており、本製品による工法は、より新しい基準による試験に合格しています。従来の JIS 規格鋼材に加え、大黒認定鋼材など多くの材種の鋼材に適用可能です。 ※以前ははり・角柱用としてニュータイカライトをラインアップしておりましたが、 2021 年より最新製品のニュータイカライト R に刷新いたしました。
タイカライト	せんい強化セメント板協会連盟認定の耐火被覆板です。1970 年及び 1976 年に旧法下で認定された工法を基本とし、その後の建築基準法の改正によって現在の認定に移行された工法用の製品です。古い制度下の認定であり、被覆対象鋼材のサイズや材種は規定されていません。
タイカライトー CFT	角形 CFT 柱の単独耐火専用の耐火被覆材です。耐火 2 時間・3 時間の認定を有しています。

丸柱用耐火被覆板（円筒形成形材）の特徴

ニュータイカライトコラム R	<p>2020 年に耐火構造認定を取得した工法用の、最新の耐火被覆材です。耐火構造の認定制度では、常に最新の技術的情報により仕様条件等の性能判定基準が緻密化されており、本製品による工法は、より新しい基準による試験に合格しています。従来の JIS 規格鋼材に加え、大臣認定鋼材など多くの材種の鋼材に適用可能です。</p> <p>※以前は丸形鋼管柱用としてニュータイカライトコラムをラインアップしておりましたが、2021 年より最新製品のニュータイカライトコラム R に刷新いたしました。</p>
タイカライトコラム	<p>せんい強化セメント板協会連盟認定の耐火被覆板です。1970 年に旧法下で認定された工法を基本とし、その後の建築基準法の改正によって現在の認定に移行された工法用の製品です。古い制度下の認定で、被覆対象鋼材のサイズや材種は規定されていません。</p>
タイカライトコラムー CFT	<p>丸形 CFT 柱の単独耐火専用の耐火被覆材です。耐火 3 時間の認定を有しています。</p>

1号品・2号品について

1 号品	強度が高い製品で、塗装・クロスの仕上げを行う場合の下地材とする部位、事務所のはり・柱など接触の可能性がある部位に適しています。
2 号品	強度が低く安価な製品で、倉庫など階高の高い部位（素地仕上げとする部位）や天井裏の隠蔽部など通常接触しない部位に適しています。

■参考資料：防耐火関係・大臣認定番号の記載方式の概要です。（部分抜粋）

◆構造の場合 120 — ****
 構造種別 時間 部位 通算番号

◆材料の場合 # # — * * * *

 材料コード 通算番号

構造種別

用語	略記	英語表記
耐火構造	FP	Fireproof Construction

部位

用語		略記	英語表記	
柱		CN	Column	
はり		BM	Beam	
非耐力壁	外壁	NE	Non-bearing Wall	Exterior Wall
	間仕切壁	NP	Non-bearing Wall	Partition Wall
床		FL	Floor	
屋根		RF	Roof	

材料コード

用語	略記	英語表記
不燃材料	NM	Noncombustible Material

けい酸カルシウム耐火被覆板 はりの耐火被覆／認定番号等一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。 ◆ 本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

単独耐火構造				
<p>※鋼材の上下左右4面を被覆する場合は当社営業担当者にお尋ねください。</p>				
耐火時間	被覆製品	T Y P E	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]
1	ニュータイカライトR	1号 2号	15 [※]	H-350×175×7×11 以上 L1 = 50 以下, L2 = 100 以下 【FP060BM-0582】
			20	H-200×100×5.5×8 以上 L1 = 15 以下, L2 = 75 以下 【FP060BM-0595】
	タイカライト	1号 2号	20	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP060BM-9393】
			25	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP060BM-9394】
2	ニュータイカライトR	1号 2号	20	H-300×200×12×19 以上 但し断面形状係数の制限あり【注2】 L1=2.5 以下, L2=27 以下 【FP120BM-0664】
			30	H-400×200×8×13 以上 L1 = 50 以下, L2 = 100 以下 【FP120BM-0524】
	タイカライト	1号 2号	35	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP120BM-9400】
			40	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP120BM-9401】
	ニュータイカライトR	2号のみ	40	H-200×100×5.5×8 以上 L1 = 2.5 以下, L2 = 5 以下 【FP120BM-0601】
			40	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP120BM-9401】
3	ニュータイカライトR	2号のみ	40	H-400×200×8×13 以上 L1 = 0, L2 = 15 以上 60 以下 【FP180BM-0233-1】 鋼材種別に鋼材サイズの制限有 被覆板の取付方法に制限有 【注1】を参照ください
	タイカライト	1号 2号	50 55	鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP180BM-9403】 鋼材サイズ制限無, L1, L2 の制限無 【FP180BM-9404】

押出成形セメント板合成耐火構造 (ECP)				
耐火時間	被覆製品	T Y P E	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]
1	ニュータイカライトR	1号 2号	(30)	(下記の耐火2時間 【FP120BM-0588】(ECP縦張) 【FP120BM-0622】(ECP横張) をご使用いただけます)
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13 以上 L1 = 50 以下, L2 = 100 以下, L3 = 250 以下 【注4】ECP縦張: 【FP120BM-0588】 ECP厚 60mm 以上 【注4】ECP横張: 【FP120BM-0622】 ECP厚 60mm 以上

壁パネル合成耐火構造 (壁パネル: ALC 板, PC 板, 鉄筋コンクリート)				
耐火時間	被覆製品	T Y P E	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]
1	ニュータイカライトR	1号 2号	側板 15 [※] 底板 20 【注3】	H-350×175×7×11 以上 L1 = 50 以下, L2 = 100 以下, L3 = 300 以下 【注4】壁パネル縦張: 【FP060BM-0593】 壁パネル厚 75mm 以上 【注4】壁パネル横張: 【FP060BM-0594】 壁パネル厚 100mm 以上
			20	H-200×100×5.5×8 以上 L1 = 15 以下, L2 = 75 以下, L3 = 250 以下 【注4】壁パネル縦張: 【FP060BM-0600】 壁パネル厚 75mm 以上
	タイカライト	1号 2号	20	【注5】ALC 厚 75mm 以上, L1, L2, L3 の制限無 【FP060BM-9362】
			25	【注5】ALC 厚 75mm 以上, L1, L2, L3 の制限無 【FP060BM-9364】
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13 以上 L1 = 50 以下, L2 = 100 以下, L3 = 300 以下 【注4】壁パネル縦張: 【FP120BM-0579】 壁パネル厚 75mm 以上 【注4】壁パネル横張: 【FP120BM-0580】 壁パネル厚 100mm 以上
	タイカライト	1号 2号	35 40	【注5】ALC 厚 75mm 以上, L1, L2, L3 の制限無 【FP120BM-9363】 【注5】ALC 厚 75mm 以上, L1, L2, L3 の制限無 【FP120BM-9365】

※オフィスビル等の仕上げはりにおいては被覆材厚 20mm 以上を推奨します。

【注1】側面（ウェブと平行の面）の被覆板をフランジに接する方法で取り付けの工法となります。天井内隠蔽部（見え隠れ部）など、高い意匠性は必要ない部位向けの工法です。被覆対象の鋼材種により、適用可能な被覆鋼材サイズは H-400×200×8×13mm 以上の場合と H-400×200×9×17mm 以上或いは H-400×200×10×16mm 以上場合があります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注2】適用可能な被覆鋼材サイズは、H-300×200×12×19 以上かつ断面形状係数 0.07995mm³ 以下となります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注3】認定上の材厚は、はり側面部の被覆材（側板）・はり底面部の被覆材（底板）共に 15mm 以上ですが、合成耐火型として必要となる取り付け強度を確保するため、はり底面部の被覆材（底板）の材厚は仕上げ部・見え隠れ部双方で 20mm 以上が必要となります。

【注4】壁パネルが ALC 板・PC 板の場合についてパネル材の長手方向を垂直に配置する場合は縦張パネル材の長手方向を水平に配置する場合は横張と呼びます。鉄筋コンクリートが壁パネルの場合は、壁目地の有無や方向によって対応する認定が異なりますので、詳しくは当社営業担当者にお尋ねください。

【注5】タイカライト（1号、2号）は壁パネルを ALC としたときのみ使用できる認定です。

◆ 軽鉄下地工法 90 分耐火鉄骨はり 大臣認定取得

令和 7 年 4 月 23 日付で大臣認定を取得しております。詳細につきましては QR コードよりご確認ください。



H 形鋼柱・角形鋼管柱の耐火被覆（□形被覆）／認定番号一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。 ◆ 本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

単独耐火構造

オフィスビル等の仕上り柱には、コーナープレートによるコーナー補強を推奨します。

H形鋼柱

耐火被覆板

L1 L2 [mm]

ALC 壁パネル合成耐火構造

オフィスビル等の仕上げ柱には、コーナービートによるコーナー補強を推奨します。

ALC 壁パネル

H 形鋼柱

耐火被覆板

L2

L3

L1

[mm]

単独耐火構造

オフィスビル等の仕上げ柱には、
コーナービートによる
コーナー補強を推奨します。

耐火時間		被覆製品	TYPE	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]		
					□ー 400 × 400 ↓	□ー 300 × 300 ↓	□ー 150 × 150 ↓
1		ニュー タイカ ライトR	1号 2号	(25)	(下記の耐火 2 時間【FP120CN-0827】を ご利用いただけます)		
		タイカ ライト	1号	20	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP060CN-9445】		
			2号	25	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP060CN-9446】		
2		ニュー タイカ ライトR	1号 2号	25	□ - 300 × 300 × 16 以上、但し幅厚比の制限 有【注 A】(P.4) を参照願います L1 = 10 以上 100 以下 【FP120CN-0827】 耐火被覆材と鋼管柱の距離について【注 1】を 参照願います		
		タイカ ライト	1号	35	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP120CN-9452】		
			2号	45	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP120CN-9453】		
3		タイカ ライト	1号	55	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP180CN-9455】		
			2号	60	鋼材サイズ制限無, L1 の制限無 【FP180CN-9456】		

壁パネル合成耐火構造
(壁パネル：ALC板、PC板、鉄筋コンクリート)

オフィスビル等の仕上げ柱には、
コーナービートによる
コーナー補強を推奨します。

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]		
			被覆材厚 [mm]	□-300 × 300 ↓	□-150 × 150 ↓
1	ニュータイカライトR	1号2号	(25)	<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 10px; text-align: center;"> (下記の耐火2時間 【FP120CN-0903】(壁パネル縦張) 【FP120CN-0902】(壁パネル横張) をご使用いただけます) </div>	
	タイカライト	1号	20		
		2号	25	<div style="background-color: #FFFFE0; padding: 10px; text-align: center;"> 【注2】 ALC厚 75mm 以上、L1、L3 の制限無 【FP060CN-9416】 </div>	
2	ニュータイカライトR	1号2号	25	<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 10px;"> □-300 × 300 × 16 以上、但し幅厚比の制限 有【注A】(P.4)を参照願います L1 = 100 以下、L3 = 150 以下 壁パネル縦張：【FP120CN-0903】 壁パネル厚 75mm 以上 壁パネル横張：【FP120CN-0902】 壁パネル厚 75mm 以上 </div>	
	タイカライト	1号	35	<div style="background-color: #FFFFE0; padding: 10px; text-align: center;"> 【注2】 ALC厚 75mm 以上、L1、L3 の制限無 【FP120CN-9415】 </div>	
		2号	45	<div style="background-color: #FFFFE0; padding: 10px; text-align: center;"> 【注2】 ALC厚 75mm 以上、L1、L3 の制限無 【FP120CN-9417】 </div>	

【注1】 本認定は耐火被覆材と鋼管柱との間に最低 10mm のクリアランスを設ける工法（浮かし張仕様）です。クリアランスを 10mm 未満とする工法が必要な場合は、別の認定となりますので当社営業担当者にお尋ねください。

【注2】タイカライト(1号, 2号)は壁パネルをALCとしたときのみ使用できる認定です。

けい酸カルシウム耐火被覆板 角形鋼管柱の耐火被覆 (□形被覆) / 認定番号一覧表 丸形鋼管柱の耐火被覆 (○形被覆) / 認定番号一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。 ◆ 本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

<p>押出成形セメント板合成耐火構造 (ECP)</p> <p>オフィスビル等の仕上げ柱には、コーナービートによるコーナー補強を推奨します。</p>				
耐火時間	被覆製品	T Y P E	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]
1	ニュータイカライトR	1号のみ	25	<div> <div>□ - 300 × 300</div> <div>↓</div> <div>300 × 300</div> </div> <div> <div>□ - 150 × 150</div> <div>↓</div> <div>150 × 150</div> </div>
2	ニュータイカライトR	1号2号	35	<div> <div>□ - 300 × 300 × 12 以上、但し幅厚比の制限有【注C】(P.5)を参照願います</div> <div>L1 = 100 以下, L3 = 250 以下</div> <div>ECP 縦張: [FP060CN-0905]</div> <div>ECP 厚 60mm 以上</div> <div>ECP 横張: [FP060CN-0904]</div> <div>ECP 厚 60mm 以上</div> </div>

<p>【注A】</p> <p>ニュータイカライトRによる耐火被覆工法では、被覆対象鋼材サイズの、鋼材幅 (B) と鋼材厚み (t) の関係 (幅厚比) に制限があります。被覆タイプに応じて、それぞれ下表に示す幅厚比表をご確認願います。</p>			
被覆タイプ	耐火時間	認定番号	幅厚比表
単独耐火構造	2 時間	FP120CN-0827	A-1
壁パネル合成耐火構造、壁パネル縦張	2 時間	FP120CN-0903	A-2
壁パネル合成耐火構造、壁パネル横張	2 時間	FP120CN-0902	A-2

表 A-1 ニュータイカライトR単独耐火構造【耐火 2 時間】
〔FP120CN-0827〕適用可能な角形鋼管の部材幅 (B) と部材厚さ (t) の関係 (幅厚比)

部材幅 (B) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外
300 ~ 550	16.0 以上	16.0 以上
600	16.5 以上	16.5 以上
650	17.0 以上	17.0 以上
700	17.4 以上	17.4 以上
750	17.9 以上	18.3 以上
800	18.4 以上	19.6 以上
850	18.9 以上	20.8 以上
900	19.5 以上	22.0 以上
950	20.0 以上	23.2 以上
1000	20.9 以上	24.4 以上
1050	21.9 以上	25.7 以上
1100	23.0 以上	26.9 以上
1150	24.0 以上	28.1 以上
1200	25.0 以上	29.3 以上
1250	26.1 以上	30.5 以上
1300	27.1 以上	31.8 以上
1350	28.2 以上	33.0 以上
1400	29.2 以上	34.2 以上
1450	30.3 以上	35.4 以上
1500	31.3 以上	36.6 以上

表 A-2 ニュータイカライトR壁パネル合成耐火構造【耐火 2 時間】
〔壁パネル縦張・横張共通〕適用可能な角形鋼管の部材幅 (B) と部材厚さ (t) の関係 (幅厚比)【注3】

部材幅 (B) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外
300 ~ 550	16.0 以上	16.0 以上
600	16.1 以上	16.4 以上
650	16.6 以上	16.9 以上
700	17.2 以上	17.4 以上
750	17.7 以上	18.3 以上
800	18.2 以上	19.6 以上
850	18.8 以上	20.8 以上
900	19.3 以上	22.0 以上
950	19.9 以上	23.2 以上
1000	20.9 以上	24.4 以上
1050	21.9 以上	25.7 以上
1100	23.0 以上	26.9 以上
1150	24.0 以上	28.1 以上
1200	25.0 以上	29.3 以上
1250	26.1 以上	30.5 以上
1300	27.1 以上	31.8 以上
1350	28.2 以上	33.0 以上
1400	29.2 以上	34.2 以上
1450	30.3 以上	35.4 以上
1500	31.3 以上	36.6 以上

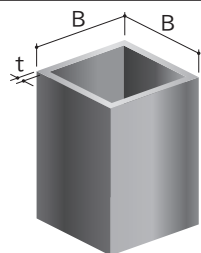
【注3】表 A-2 は耐火被覆材と鋼管柱との間にクリアランスを設ける工法（浮かし張仕様）用です。耐火被覆材を鋼管柱に直接貼り付ける工法（直張り仕様）が必要な場合は、別の幅厚比となりますので当社営業担当者にお尋ねください。

<p>単独耐火構造</p>				
耐火時間	被覆製品	T Y P E	被覆材厚 [mm]	鋼材サイズの目安 [mm]
1	ニュータイカライトコラムR	1号	認定 25【注1】 施工 25 35 45	<div> <div>Φ 355.6 × 7.9 以上、但し径厚比の制限有【注E】(P.5)を参照願います</div> <div>L1 = 20 以上 126 以下</div> <div>[FP060CN-0875]</div> </div>
	タイカライトコラム	1号	認定 20【注2】 施工 35 45	鋼材サイズ制限無、L1 の制限無 【FP060CN-9445】
2	ニュータイカライトコラムR	1号	認定 25【注1】 施工 25 35 45	<div> <div>Φ 400 × 16 以上、但し径厚比の制限有【注E】(P.5)を参照願います</div> <div>L1 = 20 以上 125 以下</div> <div>[FP120CN-0876]</div> </div>
	タイカライトコラム	1号	認定 35【注2】 施工 35 45	鋼材サイズ制限無、L1 の制限無 【FP120CN-9452】

【注1】実製品の材厚は 25mm・35mm・45mm 品のご提供となります。また、外径サイズにより材厚が異なります。詳細は耐火製品総合カタログをご参照ください。

【注2】実製品の材厚は 35mm・45mm 品のご提供となります。また、外径サイズにより材厚が異なります。詳細は耐火製品総合カタログをご参照ください。

【注 C】



ニュータイカライト R による耐火被覆工法では、被覆対象鋼材サイズの、鋼材幅 (B) と鋼材厚み (t) の関係 (幅厚比) に制限があります。被覆タイプに応じて、それぞれ下表に示す幅厚比表をご確認願います。

被覆タイプ	耐火時間	認定番号	幅厚比表
押出成形セメント板合成耐火構造, ECP 縦張	1 時間	FP060CN-0905	C-1
押出成形セメント板合成耐火構造, ECP 横張	1 時間	FP060CN-0904	C-1
押出成形セメント板合成耐火構造, ECP 縦張	2 時間	FP120CN-0919	C-2
押出成形セメント板合成耐火構造, ECP 横張	2 時間	FP120CN-0918	C-2

表 C-1 ニュータイカライトR押出成形セメント板 (ECP) 合成耐火構造【耐火 1 時間】適用可能な角形鋼管の部材幅 (B) と部材厚さ (t) の関係 (幅厚比)

部材幅 (B) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外
300	12.0 以上	12.0 以上
350	12.1 以上	12.5 以上
400	12.4 以上	13.0 以上
450	13.0 以上	13.5 以上
500	13.6 以上	14.0 以上
550	14.2 以上	14.4 以上
600	14.7 以上	14.9 以上
650	15.3 以上	15.9 以上
700	15.8 以上	17.1 以上
750	16.4 以上	18.3 以上
800	16.9 以上	19.6 以上
850	17.8 以上	20.8 以上
900	18.8 以上	22.0 以上
950	19.8 以上	23.2 以上
1000	20.9 以上	24.4 以上
1050	21.9 以上	25.7 以上
1100	23.0 以上	26.9 以上
1150	24.0 以上	28.1 以上
1200	25.0 以上	29.3 以上
1250	26.1 以上	30.5 以上
1300	27.1 以上	31.8 以上
1350	28.2 以上	33.0 以上
1400	29.2 以上	34.2 以上
1450	30.3 以上	35.4 以上
1500	31.3 以上	36.6 以上

表 C-2 ニュータイカライトR押出成形セメント板 (ECP) 合成耐火構造【耐火 2 時間】適用可能な角形鋼管の部材幅 (B) と部材厚さ (t) の関係 (幅厚比) 【注 1】

部材幅 (B) [mm]	部材厚さ (t) [mm]		部材幅 (B) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外		400 級	400 級以外
300~550	19.0 以上	19.0 以上	1050	23.6 以上	25.7 以上
600	19.1 以上	19.5 以上	1100	24.1 以上	26.9 以上
650	19.1 以上	19.9 以上	1150	24.6 以上	28.1 以上
700	19.7 以上	20.4 以上	1200	25.2 以上	29.3 以上
750	20.3 以上	20.8 以上	1250	26.1 以上	30.5 以上
800	20.8 以上	21.3 以上	1300	27.1 以上	31.8 以上
850	21.4 以上	21.7 以上	1350	28.2 以上	33.0 以上
900	21.9 以上	22.2 以上	1400	29.2 以上	34.2 以上
950	22.5 以上	23.2 以上	1450	30.3 以上	35.4 以上
1000	23.0 以上	24.4 以上	1500	31.3 以上	36.6 以上

【注 1】表 C-2 は耐火被覆材と鋼管柱との間にクリアランスを設ける工法 (浮かし張仕様) 用です。耐火被覆材を鋼管柱に直接貼り付ける工法 (直張り仕様) が必要な場合は、別の幅厚比となりますので当社営業担当者にお尋ねください。

【注 E】



ニュータイカライトコラム R による耐火被覆工法では、被覆対象鋼材サイズの、鋼材径 (D) と鋼材厚み (t) の関係 (径厚比) に制限があります。被覆タイプに応じて、それぞれ下表に示す径厚比表をご確認願います。

被覆タイプ	耐火時間	認定番号	径厚比表
単独耐火構造	1 時間	FP060CN-0875	E-1
単独耐火構造	2 時間	FP120CN-0876	E-2

表 E-1 ニュータイカライトコラムR単独耐火構造【耐火 1 時間】適用可能な丸形鋼管の部材径 (D) と部材厚さ (t) の関係 (径厚比)

部材径 (D) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外
355.6	7.9 以上	7.9 以上
400	8.2 以上	8.2 以上
450	8.5 以上	8.5 以上
500	8.8 以上	8.8 以上
550	9.1 以上	9.1 以上
600	9.4 以上	9.4 以上
650	9.7 以上	9.7 以上
700	10.0 以上	10.0 以上
750	10.3 以上	10.3 以上
800	10.7 以上	11.0 以上
850	11.0 以上	11.7 以上
900	11.3 以上	12.4 以上

表 E-2 ニュータイカライトコラムR単独耐火構造【耐火 2 時間】適用可能な丸形鋼管の部材径 (D) と部材厚さ (t) の関係 (径厚比)

部材径 (D) [mm]	部材厚さ (t) [mm]	
	400 級	400 級以外
400 ~ 700	16.0 以上	16.0 以上
750	18.5 以上	18.5 以上
800	18.8 以上	18.8 以上
850	19.1 以上	19.1 以上
900	19.4 以上	19.4 以上

けい酸カルシウム耐火被覆板

角形 CFT 柱の□形耐火被覆・丸形 CFT 柱の○形耐火被覆／認定番号一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。◆ 本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

耐火時間	被覆製品	TYPE	角形 CFT 柱 耐火被覆板		被覆製品	TYPE	丸形 CFT 柱	
			単独耐火構造				単独耐火構造	
			被覆角形 CFT 柱サイズ, mm □-450 × 450 以上, 鋼材厚 12 以上				被覆丸形 CFT 柱サイズ, mm Φ 508 以上, 鋼材厚 12.7 以上	
		被覆材厚 [mm]	【認定番号】 施工条件			被覆材厚 [mm]	【認定番号】	
1	タイカライト - CFT	1号	(20)	(下記の耐火 2 時間 FP120CN-0780-3 を ご使用いただけます)	タイカライトコラム - CFT	1号	(25) ^{※4} 施工 25 35	(下記の耐火 3 時間 FP180CN-0795-1 をご使用いただけます)
2	タイカライト - CFT	1号	20	【FP120CN-0780-3】 L1 = 200 以下 * 仕上寸法が 1440mm を越える場合、当社営業担当者 にお尋ねください。	タイカライトコラム - CFT	1号	(25) ^{※4} 施工 25 35	(下記の耐火 3 時間 FP180CN-0795-1 をご 使用いただけます)
3	タイカライト - CFT	1号	25	【FP180CN-0686-4】 L1 = 150 以下 * 仕上寸法が 1350mm を越える場合、当社営業担当者 にお尋ねください。	タイカライトコラム - CFT	1号	25 ^{※4} 施工 25 35	【FP180CN-0795-1】 L1 = 151 以下
タイカライト - CFT に適用可能な鋼管柱 (耐火 3 時間・2 時間共通)					タイカライトコラム - CFT に適用可能な鋼管柱 (耐火 3 時間)			
<div>■ 鋼管柱 鋼材の種類：①～⑪の一 ①一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400, SS490 ②溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400, SM490, SM520 ③建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400, SN490 ④一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400, STKR490 ⑤一般構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3444) STK400, STK490 ⑥建築構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3475) STKN400, STKN490 ⑦溶接構造用耐熱性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400, SMA490 ⑧建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0002 (BCR295) ⑨建築構造用冷間プレス成形角形鋼管 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0003 (BCP235, BCP325) ⑩建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0012 (BCP325T) ⑪耐火構造認定書 (FP180CN-0686-3, FP120CN-0780-2) 記載の①～⑦の JIS 鋼材 と高温性能の同等性が確認された鋼材^{※1} ただし、⑧～⑪は建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る</div> <div>蒸気抜き孔：平成 14 年国土交通省告示第 464 号第 7 第 4 項に従う</div> <div>※ 1 上記⑪の分類の鋼材種の詳細につきましては、別途当社営業担当者にお問い合わせください。</div>					<div>■ 鋼管柱 鋼材の種類：①～⑦の一 ①一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400, SS490 ②溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400, SM490, SM520 ③建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400, SN490 ④一般構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3444) STK400, STK490 ⑤建築構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3475) STKN400, STKN490 ⑥溶接構造用耐熱性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400, SMA490 ⑦ ①～⑥の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材^{※2} ただし、⑦は建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る</div> <div>蒸気抜き孔：平成 14 年国土交通省告示第 464 号第 7 第 4 項に従う</div> <div>※ 2 上記⑦の分類の鋼材種の詳細につきましては、別途当社営業担当者にお問い合わせください。</div>			
<div>■ 充てんコンクリート (タイカライト - CFT 耐火 3 時間, 耐火 2 時間共通) (タイカライトコラム - CFT 耐火 3 時間) 材料：①又は② ①レディーミクストコンクリート (JIS A 5308) 種類：(1) 又は (2) (1) 普通コンクリート 呼び強度 18 ～ 45 (2) 高強度コンクリート 呼び強度 46 ～ 60 骨材：JIS A 5308 附属書 A (レディーミクストコンクリート用骨材) に適合するもののうちの砕石及び砕砂並びに砂利及び砂 ②高強度コンクリート, 高流動コンクリート, CFT コンクリート^{※3} ①のレディーミクストコンクリートと高温性能の同等性が確認された、耐火構造認定書 (FP180CN-0686-3, FP120CN-0780-2, FP180CN-0795-1) 記載のコンクリート^{※3} 但し、建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る。設計基準強度：24N/mm² ～ 150N/mm² ※ 3 上記②の分類のコンクリートは、以下に示す特定の元請建設業者様 (ゼネコン様) による建築物のみで適用可能であり、以下に示す特定の元請建設業者様 (ゼネコン様) にのみ仕様詳細情報を開示できます。</div> <div>■適用可能な元請建設業者様 (ゼネコン様) (順不同, 敬称略) 鹿島建設株式会社 株式会社大林組 清水建設株式会社 大成建設株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社鴻池組 戸田建設株式会社 西松建設株式会社 株式会社安藤・間 株式会社フジタ 三井住友建設株式会社 株式会社熊谷組 五洋建設株式会社 前田建設工業株式会社 大和ハウス工業株式会社</div>								

※ 4 実製品の材厚は 25mm・35mm 品のご提供となります。また外径サイズにより材厚が異なります。詳細は耐火製品総合カタログをご参照ください。

補足 1 丸形 CFT 柱の□形被覆 (角柱仕上がり) につきましては、当社営業担当者にお尋ねください。

補足 2 本表は、一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

補足 3 本表の仕様等は、認定内容の一部をまとめたものです。認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

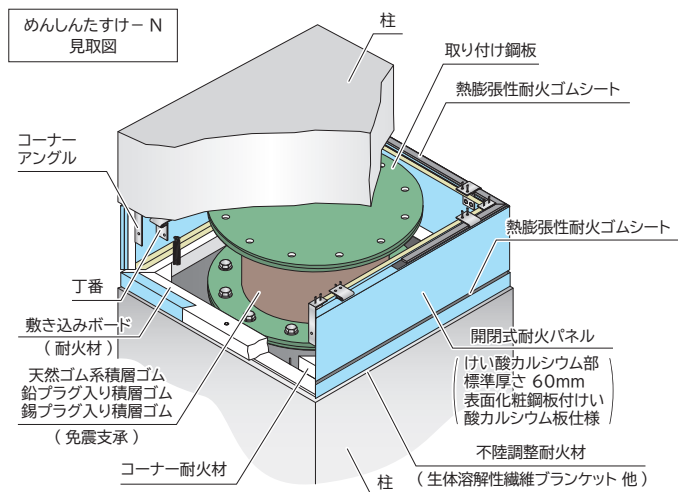
補足 4 被覆材厚につきましては、認定書に記載される最低材厚を示しています。

RC 柱と SRC 柱向け・柱の免震装置耐火被覆／めんしんたすけシリーズ

1. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム／パネル開閉式／めんしんたすけ-N

耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日
SRC 柱 向け	表面鋼板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日



めんしんたすけ-N を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震装置の大臣認定番号等一覧

MVBR-0030	MVBR-0235	MVBR-0319	MVBR-0447
MVBR-0046	MVBR-0237	MVBR-0320	MVBR-0449
MVBR-0047	MVBR-0240	MVBR-0323	MVBR-0451
MVBR-0058	MVBR-0245	MVBR-0342	MVBR-0453
MVBR-0094	MVBR-0247	MVBR-0355	MVBR-0454
MVBR-0121	MVBR-0251	MVBR-0380	MVBR-0455
MVBR-0126	MVBR-0260	MVBR-0401	MVBR-0467
MVBR-0129	MVBR-0265	MVBR-0405	MVBR-0483
MVBR-0166	MVBR-0275	MVBR-0406	MVBR-0504
MVBR-0171	MVBR-0277	MVBR-0414	MVBR-0508
MVBR-0185	MVBR-0295	MVBR-0421	MVBR-0509
MVBR-0196	MVBR-0300	MVBR-0422	MVBR-0517 ^{※1}
MVBR-0209	MVBR-0305	MVBR-0423	MVBR-0518
MVBR-0211	MVBR-0306	MVBR-0431	MVBR-0540
MVBR-0212	MVBR-0318	MVBR-0446	

建設省東住指第 764 号

※1 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

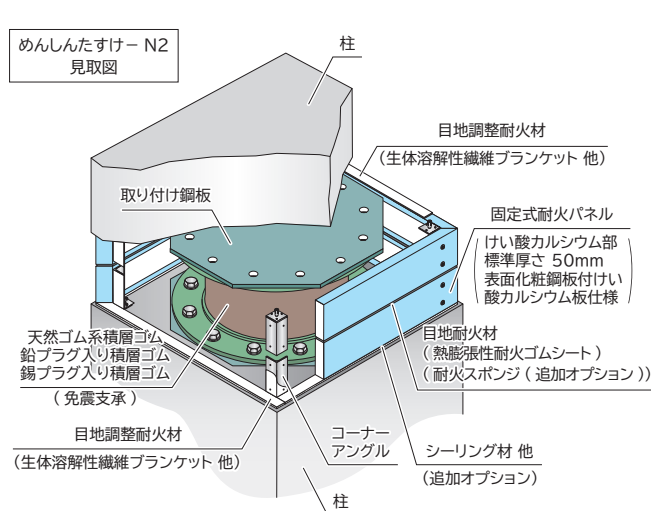
注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0198-1(1),FP180CN-0198-1(2) の内容をご確認ください。

◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

2. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-N2

耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-3(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
SRC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-3(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
RC 柱 向け	表面仕上げ材・表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-3(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
SRC 柱 向け	表面仕上げ材・表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-3(4)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日



めんしんたすけ-N2 を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震装置の大臣認定番号等一覧

MVBR-0046	MVBR-0265	MVBR-0406	MVBR-0518
MVBR-0047	MVBR-0275	MVBR-0414	MVBR-0521
MVBR-0094	MVBR-0277	MVBR-0421	MVBR-0522
MVBR-0126	MVBR-0295	MVBR-0422	MVBR-0540
MVBR-0129	MVBR-0300	MVBR-0423	MVBR-0590
MVBR-0166	MVBR-0305	MVBR-0431	MVBR-0591
MVBR-0185	MVBR-0306	MVBR-0446	MVBR-0592
MVBR-0196	MVBR-0318	MVBR-0447	MVBR-0593
MVBR-0211	MVBR-0319	MVBR-0449	MVBR-0613
MVBR-0212	MVBR-0320	MVBR-0451	MVBR-0614
MVBR-0235	MVBR-0323	MVBR-0453	MVBR-0615
MVBR-0237	MVBR-0342	MVBR-0454	MVBR-0616
MVBR-0240	MVBR-0355	MVBR-0467	MVBR-0617
MVBR-0247	MVBR-0380	MVBR-0508	MVBR-0644
MVBR-0251	MVBR-0401	MVBR-0509	MVBR-0645
MVBR-0260	MVBR-0405	MVBR-0517 ^{※2}	

建設省東住指第 764 号

※2 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

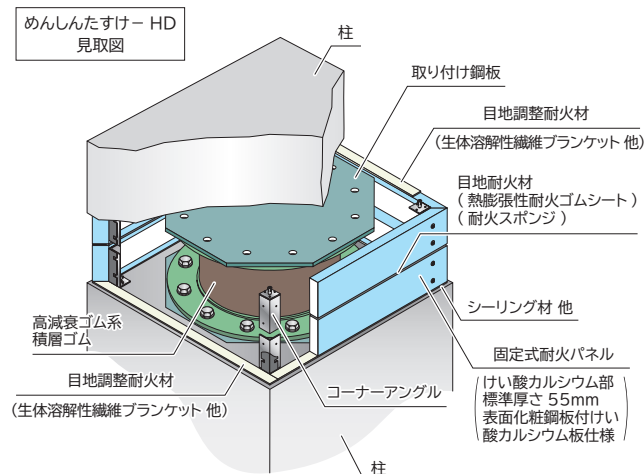
注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0341-2(1),FP180CN-0341-2(2),FP180CN-0341-2(3),
FP180CN-0341-2(4) の内容をご確認ください。

◆ 免震装置 2 基を並列または 3 基を一括して被覆することも可能です。

RC 柱と SRC 柱向け・柱の免震装置耐火被覆／めんしんたすけシリーズ

3. 高減衰ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-HD 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-4(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
SRC 柱 向け	表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-4(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
RC 柱 向け	表面仕上げ材・表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-4(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
SRC 柱 向け	表面仕上げ材・表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-4(4)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日



◆ 免震装置 2 基を並列または 3 基を一括して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-HD を適用可能な
高減衰ゴム系積層ゴム免震装置の大臣認定番号等一覧

MVBR-0258（せん断弾性係数 G0.39）	MVBR-0439
MVBR-0285（せん断弾性係数 G0.612）	MVBR-0468
MVBR-0286	MVBR-0473
MVBR-0341	MVBR-0510 ^{※4}
MVBR-0398	MVBR-0514
MVBR-0404 ^{※3}	MVBR-0515 ^{※5}
MVBR-0415	MVBR-0516 ^{※5}
MVBR-0416	MVBR-0519
MVBR-0420	MVBR-0520
MVBR-0430	MVBR-0650 ^{※6}
MVBR-0437	MVBR-0650-1 ^{※6}

※ 3 MVBR-0404 はゴム総厚 20cm のタイプの呼び径 600mm と 650mm を除く。
 ※ 4 MVBR-0510 は二次形状係数（S2）が 5 かつゴム外径が 1100mm のものを除く。
 ※ 5 MVBR-0515, MVBR-0516 はフランジ鋼板厚み 20mm を下回る製品を除く。
 ※ 6 MVBR-0650, MVBR-0650-1 は公称（中央）ゴム外径が 950mm と 1000mm のものを除く。

注）適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
 認定書 FP180CN-0284-4(1), FP180CN-0284-4(2), FP180CN-0284-4(3),
 FP180CN-0284-4(4) の内容をご確認ください。

■ご案内 めんしんたすけシリーズの、新しい大臣認定の免震装置への対応につきまして

各免震装置メーカーより随時新しい大臣認定の免震装置（新商品・新仕様・新グレード等）がリリースされます。当社のめんしんたすけシリーズを新しい大臣認定の免震装置に対応させるためには、新しい耐火構造認定（更新認定を含む）を取得する必要がありますが、取得には相応の時間が必要となります。

新しい大臣認定の免震装置（本カタログに記載する、適用可能な免震装置の大臣認定番号以外の番号のもの）の採用と、これへの耐火被覆を検討される場合、早い段階で当社営業担当者にご相談いただきますようお願いいたします。

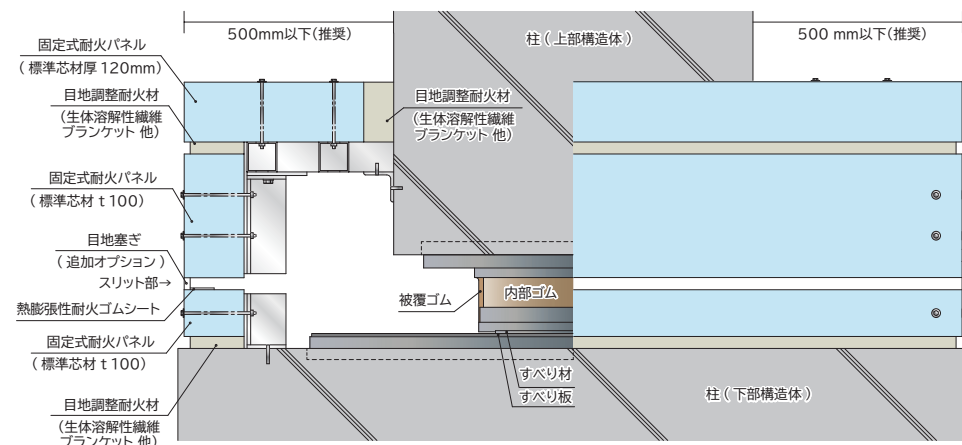
RC 柱と SRC 柱向け・柱の免震装置耐火被覆／めんしんたすけシリーズ

4. すべり支承免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ－S

耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（すべり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
SRC 柱 向け	表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（すべり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日
RC 柱・ SRC 柱 併用向け	表面溶融亜鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（すべり支承）・鉄筋コンクリート柱・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-2(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 7 年 4 月 23 日

めんしんたすけ－S
見取図



めんしんたすけ－S を適用可能な
すべり支承免震装置の大臣認定番号一覧

弾性すべり支承免震装置

MVBR-0176	MVBR-0399	MVBR-0563
MVBR-0181	MVBR-0412 ^{※7}	MVBR-0567
MVBR-0236	MVBR-0433	MVBR-0568
MVBR-0264	MVBR-0434	MVBR-0569
MVBR-0346	MVBR-0435	MVBR-0581 ^{※8}
MVBR-0349	MVBR-0463	MVBR-0618
MVBR-0358	MVBR-0469	MVBR-0619
MVBR-0359	MVBR-0479	MVBR-0620
MVBR-0390	MVBR-0497	MVBR-0647
MVBR-0391	MVBR-0546	MVBR-0648
MVBR-0392	MVBR-0548	MVBR-0649
MVBR-0395	MVBR-0556	

剛すべり支承免震装置

MVBR-0242	MVBR-0441	MVBR-0606 ^{※11}
MVBR-0248	MVBR-0442	MVBR-0607 ^{※11}
MVBR-0293	MVBR-0471 ^{※9}	MVBR-0622 ^{※9※12}
MVBR-0368	MVBR-0580 ^{※10}	MVBR-0623 ^{※11}
MVBR-0375	MVBR-0601	
MVBR-0394	MVBR-0602	

- ※ 7 MVBR-0412 は積層ゴム部の外径がΦ 1100 mm を越えるものは除く。
 ※ 8 MVBR-0581 はすべり材厚さが 20 mm 以下のものに限る。
 ※ 9 MVBR-0471, MVBR-0622 はバックプレートの最小寸法が 500mm 以上のものに限る。
 ※ 10 MVBR-0580 はスライダ径がΦ 300mm 以下のものを除く。
 ※ 11 MVBR-0606, MVBR-0607, MVBR-0623 はベースボット内径（すべり材ホルダー相当部）がΦ 300mm 未満のものは除く。
 ※ 12 MVBR-0622 はバックプレート（裏板）の厚さが 12mm 以上のものに限る。

注）免震装置の詳細につきましては
認定書 FP180CN-0956-2(1), FP180CN-0956-2(2), FP180CN-0956-2(3) の
内容をご確認ください。

◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

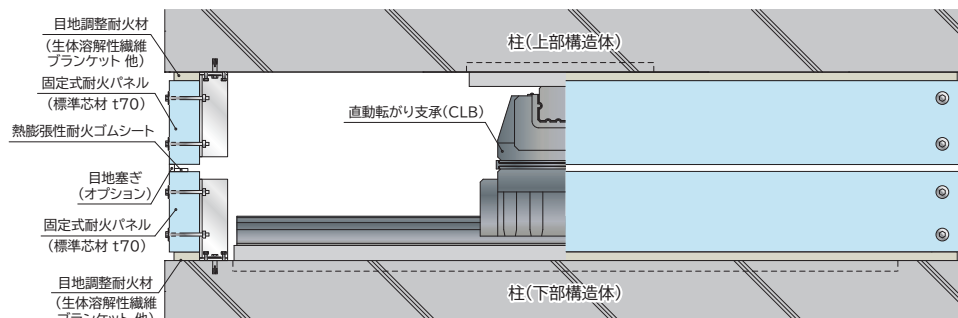
RC 柱と SRC 柱向け・柱の免震装置耐火被覆／めんしんたすけシリーズ

5. 転がり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ- CLB

耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日

めんしんたすけ- CLB
見取図



めんしんたすけ- CLB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

直動転がり支承免震装置※12

MVBR-0198	MVBR-0270	MVBR-0372
MVBR-0199	MVBR-0271	MVBR-0373
MVBR-0200	MVBR-0272	MVBR-0374
MVBR-0267	MVBR-0281	MVBR-0381
MVBR-0268	MVBR-0282	MVBR-0382
MVBR-0269	MVBR-0283	MVBR-0383

※ 12 リニアレールの長さが 1150mm 以上のもの、かつ基準荷重が 2451kN 以上のものに限る。

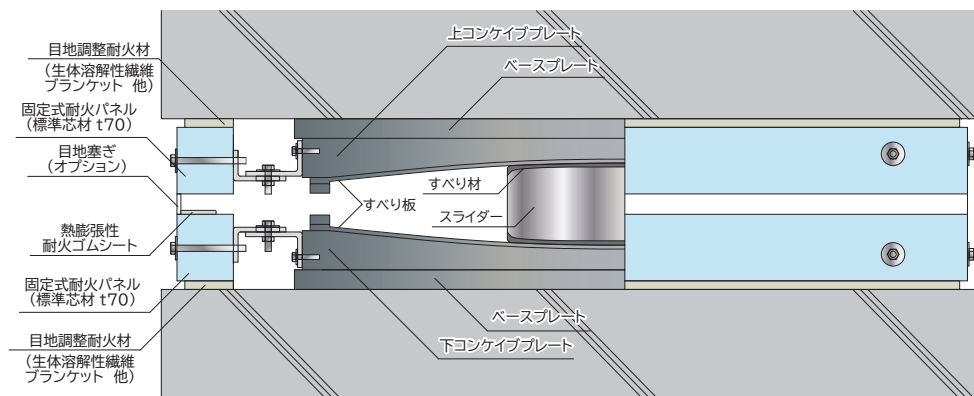
注) 免震装置の詳細につきましては認定書
FP180CN-0796(1), FP180CN-0796(2)
の内容をご確認ください。

6. 球面すべり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ- SSB

耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
RC 柱・SRC 柱 併用向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日

めんしんたすけ- SSB
見取図



めんしんたすけ- SSB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

日鉄エンジニアリング製球面すべり支承免震装置

- ・ MN タイプ 大臣認定番号
MVBR-0586 MVBR-0588
MVBR-0610 MVBR-0654
- ・ LN タイプ 大臣認定番号
MVBR-0585 MVBR-0589
MVBR-0609 MVBR-0653

付帯条件
スライダー径：φ 150mm 以上
ベースプレートの厚さ：22mm 以上

注) 免震装置の詳細につきましては、認定書
FP180CN-0823-2(1), FP180CN-0823-2(2),
FP180CN-0823-2(3) の内容をご確認ください。

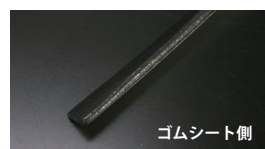
◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

鉄骨はり貫通部用薄型熱膨張性耐火被覆材
(一般部吹付けロックウール耐火被覆)

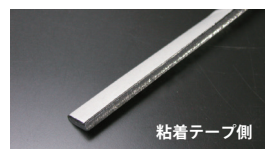
すりーぶたすけ

耐火時間	仕様（はり補強タイプ）	認定番号	認定取得日
1 時間	補強プレートタイプ （はり無補強・はり側面補強タイプ）	FP060BM-0322-3	平成 29 年 9 月 29 日
	補強リングタイプ （はり貫通孔内部補強タイプ）	FP060BM-0418	平成 29 年 3 月 22 日
2 時間	補強プレートタイプ （はり無補強・はり側面補強タイプ） 補強リングタイプ （はり貫通孔内部補強タイプ）	FP120BM-0854	令和 7 年 9 月 1 日
3 時間		FP180BM-0527	平成 30 年 11 月 22 日

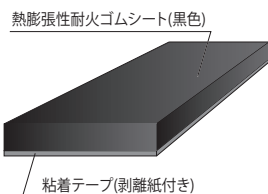
仕様等詳細につきましては、各認定書をご確認ください。



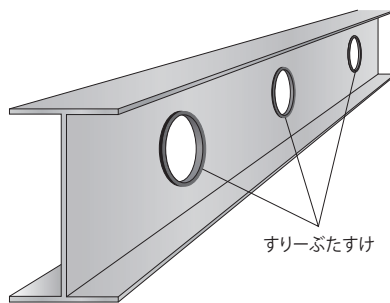
ゴムシート側



粘着テープ側



すりーぶたすけの材料構成



すりーぶたすけ

ロックウール吹付け前に取り付けます。



すりーぶたすけ (ロックウール吹付け後)

壁の認定／防火材料認定

間仕切壁

部位	名称	耐火時間	認定番号
間仕切壁	タイカライトパネル t25 両面張り中空壁	耐火 1 時間	FP060NP-9252
	タイカライト（壁用） t35 両面張り中空壁	耐火 1 時間	FP060NP-9262
	タイカライト（壁用） t70 単板壁	耐火 1 時間	FP060NP-9253
	タイカライト（壁用） t35 2 層張り壁	耐火 1 時間	FP060NP-9255

※非耐力壁である間仕切壁の耐火時間は、建築基準法改正時に耐火 1 時間の区分となったため、改正前に耐火 2 時間の認定を受けていたものについても耐火 1 時間に改められています。詳しくは当社営業担当者にお尋ねください。

防火材料認定（全て不燃材料）

区分	商品名	旧認定番号	新認定番号
耐火被覆材	タイカライト（1号・2号）	不燃（通）第 1061 号	NM-8578
意匠内装材	タイカライトウッド, タイカライトウッド FX(共に厚 12mm 以上)	不燃（通）第 1061 号	NM-8578
	タイカライトウッド(厚 12mm 未満)	—	NM-2086
調湿建材	ニューヒューミライト	—	NM-3617
	ヒューミライト（厚 20mm 以上）	不燃（個）第 12361 号	NM-8310
	ヒューミライト（厚 20mm 未満）	不燃（通）第 1061 号	NM-8578

※耐火被覆材ニュータイカライト R, ニュータイカライト, タイカライトー CFT, 円筒形成耐火被覆材ニュータイカライトコラム R・タイカライトコラム・タイカライトコラムー CFT は、平成 12 年建設省告示第 1400 号により定められる告示指定の不燃材料です。

[illegible]

[illegible]

品質マネジメントシステム ISO 9001	審査登録 JAB CM015 JTCCM RQ0001
環境マネジメントシステム ISO 14001	審査登録 JAB CM015 JTCCM RE0146

◇登録範囲につきましては、当社 WEB サイトをご参照ください。



事業所		組織名，住所，連絡先等を変更する場合がございます。最新情報は当社 WEB サイトをご参照ください。		
本 社	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 7F）	TEL.06(6210)1250	FAX.06(6210)1254
建 築 事 業 部	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6765	FAX.03(4500)6770
建築営業開発部	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6765	FAX.03(4500)6770
関東支社	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6761	FAX.03(4500)6767
営業グループ	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6761	FAX.03(4500)6767
販売グループ	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6763	FAX.03(4500)6770
関西支社	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1282	FAX.06(6210)1283
営業グループ	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1282	FAX.06(6210)1283
販売グループ	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1282	FAX.06(6210)1283
東北営業所	〒 981-3133	仙台市泉区泉中央 2 丁目 16 番 12 号（SS 泉ビル 5F）	TEL.022(779)6651	FAX.022(779)6652
中部営業所	〒 460-0002	名古屋市中区丸の内 1 丁目 10 番 19 号（丸の内貴清堂ビル 7F）	TEL.052(228)8682	FAX.052(228)8683
九州営業所	〒 812-0013	福岡市博多区博多駅東 2 丁目 5 番 37 号（博多日光ビル 3F）	TEL.092(452)8651	FAX.092(452)8671
プラント事業部	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6771	FAX.03(4500)6780
プラント営業開発部	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6772	FAX.03(4500)6780
プラント海外営業グループ	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6775	FAX.03(4500)6780
プラント販売部				
東京販売グループ	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6773	FAX.03(4500)6780
大阪販売グループ	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1275	FAX.06(6210)1276
東日本支社	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6771	FAX.03(4500)6780
京浜営業所	〒 210-0826	神奈川県川崎市川崎区塩浜 3 丁目 24 番 6 号	TEL.044(288)0904	FAX.044(276)1138
鹿島営業所	〒 314-0252	茨城県神栖市柳川 3700 番地	TEL.0479(46)2101	FAX.0479(46)3909
新潟営業所	〒 945-0218	新潟県柏崎市大字花田字東谷地 1335 番	TEL.0257(35)7101	FAX.0257(35)5876
苫小牧出張所	〒 053-0021	北海道苫小牧市若草町 2 丁目 2 番 1 号	TEL.0144(36)2040	FAX.0144(32)2007
京葉支社	〒 290-0056	千葉県市原市五井 9131 番地	TEL.0436(22)1051	FAX.0436(22)6579
千葉営業所	〒 290-0056	千葉県市原市五井 9131 番地	TEL.0436(22)1051	FAX.0436(22)6579
西日本支社	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1273	FAX.06(6210)1276
大阪営業所	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 1 丁目 18 番 17 号（商工中金船場ビル 8F）	TEL.06(6210)1273	FAX.06(6210)1276
三重営業所	〒 510-0854	三重県四日市市塩浜本町 3 丁目 25 番	TEL.059(346)6216	FAX.059(346)7315
倉敷営業所	〒 712-8046	岡山県倉敷市福田町古新田 802 番地 8	TEL.086(456)5214	FAX.086(455)1269
環境エンジニアリング部	〒 135-0016	東京都江東区東陽 3 丁目 7 番 13 号（ヒューリック木場ビル 6F）	TEL.03(4500)6777	FAX.03(4500)6780
技 術 本 部	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(327)8108
商品技術研究所	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(326)4021
生産技術研究所	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(327)8108
生 産 事 業 部	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(327)3821
岐阜工場	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(327)3821
北勢工場	〒 511-0418	三重県いなべ市北勢町下平字権現 1153 番地 1	TEL.0594(72)6311	FAX.0594(72)6329
商品 PR ルーム	〒 501-0232	岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064 番地 1	TEL.058(326)3221	FAX.058(327)3821

設計工事請負	取り扱い商品
建築耐火工事 鉄骨耐火被覆工事，耐火間仕切壁工事，防火区画貫通部ケーブル延焼防止工事 壁・天井工事 他	ニュータイカライト R，タイカライト，めんしんたすけシリーズ， タイカライトウッドシリーズ，ニューヒューミライト タイカライトプラストー A，JIC タイカブロック EP，Baubio（バウビオ）シリーズ ハイスタック，彩玉ボード，3S ボード，無機粉体 アルティーボード FS，湯上がり美人カラットさん（バスマット）
工業用耐火断熱工事 保温・保冷工事，加熱炉耐火工事，機器配管防音工事 プラントストラクチャー耐火被覆工事，ケーブルダクト耐火被覆工事 他	Uーブリッド，ダイバライト，エックスライト，ニューベストライト，インビバライト， ニューインビバライト，エルボカバー，ブロックエルボ，アーチカバー，ブロックミラー サーモカットリング，JIC エコタフネスシリーズ 他

本資料の内容は予告なく変更することがあります。なお、当社に無断で本資料を複製・転載することを禁止します。本資料に記載される商品は日本国市場向けのものであり、日本国以外の国で商品を使用する場合、様々な制限を受けます。各商品の取り扱いに際しては注意すべき点がございますので各商品に付属する注意事項案内書，ホームページに掲載する注意事項案内等をご確認願います。

2025 年 10 月改定版
AC020-2510-ver25.2